

市の民の声

知覧町 南別府

中村 孝満

雑感 ―思いのままに―

議会だよりへの投稿依頼を受け、筆無精の私には大きな悩みのタネでしたが、ようやく机に向かい心もとない雑感を少々記させていただきます。

一、4月に入り宮崎県の口蹄疫発生で本市の畜産農家も心身共に限界の域に達しているのではないのでしょうか。一般の地域住民にも防疫対策に理解と協力をお願いするとともに、これからも農畜産物の供給基地として、頑張っていたいただきたいものです。

二、合併後、新たに校区公民館の建設が5カ所ありましたが、館（やかた）は地域の皆さんが一同に会し連帯を深めるとともに、今までより以上に館長を中心にそれぞれ活動されるものと思います。旧知覧町の校区公民館の

運営に関しては指定管理者制度を採用して22年度をもって終年となります。

今後、市の行政指導のもと統一した公民館を目指し、今まで以上の地域の活性化を期待して止まない次第です。

三、本市には21の小学校があります。うち小規模校が8校と伺っております。小規模校ではスポーツ活動もままならない現状にあるものの、学校地域がともに支えあって色々と活動がなされています。同時に学童保育を模索していますが、運営（経費）面で実現できそうにない状況に暮れている現状です。また、少子高齢化で消防団員の確保など多くの難問を抱えていることに何か名案はないものでしょうか。

色々と愚見を述べましたが、行政の助言、指導を仰ぎながら全校区一致団結して明日に向かって頑張る事を念じし。



川辺町 神殿 有村まり子

ただいま 勉強中

「お願いが、あるんだけど」と、原稿依頼があり、お断りしたのですが、議会広報委員の押しの一手に負けてしまいました。

ほんと議会の事なんて頭から難しい、何もわからないし：受けたものどうしよう、私なんか：そういえば、頼まれ事は、試されごと、書くだけ書いてみようかと、ペンを取りました。

4月から、神殿校区公民館で、お仕事をさせて頂いております。当初事務室には、「これを読んで下さい。」という、沢山の資料の中に、議会議録が並べてありまして。少しづつ読んでますが、やはり給食センター建設の事が目にとまりました。合併しても財政は厳しいと聞く中、いつの間にか決定されてお

り、小・中学生を持つ保護者のどうなるのかという不安の声を多く聞きます。

二十一世紀は、農出し、コミュニケーションの時代と言われます。議員の皆さんには、もっと一人でも多くの市民とコミュニケーションを持って欲しいと思います。

また、私も積極的に議会への傍聴にも参加できるように努めたいと思っております。

仕事場では一年生、いろんな事を吸収しながら、校区のお役に立てるよう勉強中です。

最後に、この様な機会を与えていただき、有難うございました。感謝致します。

編集後記

南九州市で催される

「ねぶた祭in知覧」「川辺祇園まつり」「えいのゴツソイまつり」が延期・中止されることとなりました。宮崎県で口蹄疫というウイルス性の家畜伝染病が発生した事に起因しています。約29万頭もの牛・豚が、殺処分されました。

ウイルスの猛威は人間の化学・医学の発達を越えはびこる可能性を秘めているようです。

これももし、我々人間に起きたなら……。ふと、

考えてしまったのは私だけでしょうか。

ウイルスの伝染を最小限に防ぐ術を熟知した英断が必要とされています。そこに大きな問題があつたように思えます。途方にくれた農家の再起のため、最大限の支援を望んで止みません。

(満留 秀昭)

▼広報編集委員会

- 委員長 峯 勝範
- 副委員長 山下 つきみ
- 委員 満留 秀昭
- 大 蘭 秀己
- 加治 佐民生
- 菊永 忠行



夏に映える川辺のクルクマシャローム